

ふきのとう

2005
春号
No.010

医学友好交流

中国蘭州市衛生局との

欢迎日本秋田市立综合病院友好交流



中国蘭州市
白塔山公園



市立秋田総合病院では1991年から中国蘭州市衛生局と医学友好交流を行っております。今年度は、平成16年10月8日から15日まで、5名の職員が蘭州市を訪問しました。蘭州市第一人民医院では佐々木院長が経尿道的前立腺切除術を4例施行するなど、医学的交流を深めて参りました。平成17年には中国蘭州市衛生局から5名の医師をお迎えすることになっており、今後とも友好を深めていきたいと考えております。

患者さんに
聞きました

満足度調査

市立秋田総合病院看護部では、入院中の患者さんに満足していただける看護を提供するため、平成15年度より「看護に対する満足度調査」を実施しています。今回は平成16年度の調査結果の一部を報告します。



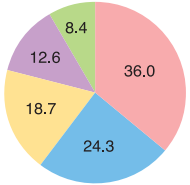
調査の結果は、前回（平成15年度）の調査に比べ、ほとんどの項目について良い評価が得られました。特に「看護師は、あなたにその日の担当であることを伝えていた」は29.4%も向上しました。また「安心して入院生活を過ごせるよう配慮されていた」や「看護に満足している」は高い評価を受けており、患者さんへの挨拶や声かけなど、日頃の誠意を持った対応が評価された結果だと思えます。

改善項目としては、「家族への説明」・「医師の説明に対する内容の理解確認」などは、評価の低い項目でありました。これからは、医師による病状説明などの際は、できるだけ同席し、患者さん、ご家族の理解と納得が得られるように努めます。また、ご家族が面会にいらした際にはこちらから声をかけ、経過や今後の予定について、お話できる範囲でお伝えしていくようにします。

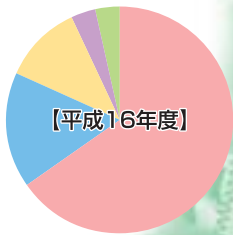
患者さんの声をしっかりと受け止め、今後とも入院生活を少しでも快適に過ごしていただけるよう、心のこもった看護を提供してまいります。

1 看護師は、あなたにその日の担当であることを伝えましたか？

【%】【平成15年度】

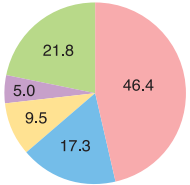


- 100% / 36.0%
- 時々 / 24.3%
- あまり無い / 18.7%
- 全く無い / 12.6%
- 未記入 / 8.4%

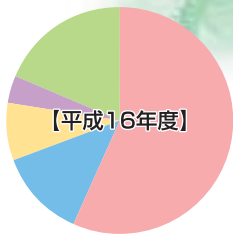


2 看護師は、あなたの家族に十分な説明をしてくれましたか？

【%】【平成15年度】

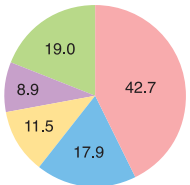


- 100% / 46.4%
- 時々 / 17.3%
- あまり無い / 9.5%
- 全く無い / 5.0%
- 未記入 / 21.8%

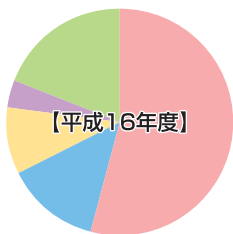


3 看護師は、医師の話の内容が分かったかどうか、あなたに確かめてくれましたか？

【%】【平成15年度】

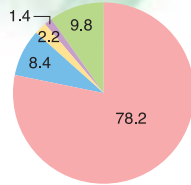


- 100% / 42.7%
- 時々 / 17.9%
- あまり無い / 11.5%
- 全く無い / 8.9%
- 未記入 / 19.0%

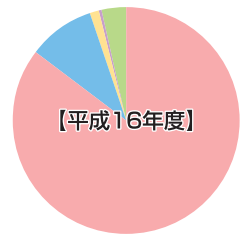


4 看護師は、あなたが安心して入院生活を過ごせるよう配慮してくれましたか？

【%】【平成15年度】

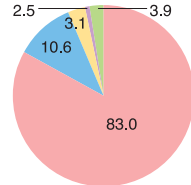


- 100% / 78.2%
- 時々 / 8.4%
- あまり無い / 2.2%
- 全く無い / 1.4%
- 未記入 / 9.8%

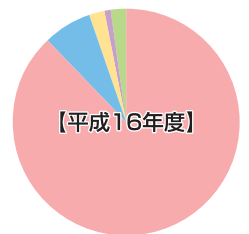


5 あなたは、あなたに行われた看護に満足していますか？

【%】【平成15年度】



- 100% / 83.0%
- 時々 / 10.6%
- あまり無い / 3.1%
- 全く無い / 2.5%
- 未記入 / 3.9%



ノロウイルス感染の予防

今冬は、ノロウイルスの感染性胃腸炎が話題となりました。まだ流行する時期です。予防に気をつけましょう。

ノロウイルスの感染経路は3つあります

- 汚染された貝類から
- 食品を取扱う人が感染して
- 感染者のふん便や吐物から

予防のポイント

- 貝類（カキ・アサリなど）の生食はさけ、よく加熱。
- それらを調理した器具（まな板・包丁など）は熱湯消毒。
- トイレの後、調理の前はよく手洗い、うがい。蛇口も洗う。
- 便や吐物はきちんと処理（その後の手洗いを十分に）。



尿路結石治療のために

最新のESWL(体外衝撃波碎石)装置 が導入されました。

尿が通る道に結石がつまって、はげしい痛みを引き起こす「尿路結石」。再発することも多いこの病気に対して、副作用、後遺症が少なく体に傷がつかない画期的な治療装置が導入されました。今回は泌尿器科科長の松尾重樹先生からお話を伺いました。

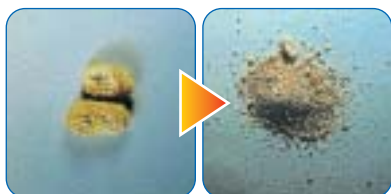
約20年前に「開腹手術が不必要」として、尿路結石の治療の一大革命として登場したのが、体外衝撃波碎石術ESWLです。その画期的な治療装置は秋田市には数年遅れて秋田大学附属病院に導入されました。

ESWLはすべての尿路結石を治療できる訳ではありませんが、腎臓、そして腎臓に近い上部尿管に位置する結石症に最も効果を発揮します。

そこで当院でも積極的な治療を目指して念願のESWLが導入されました。今回導入されたESWLは、小型で性能が一段とランクアップしたフランス製の「ソノリス・ブラクティス」という最新の機種です。

この装置は最新の衝撃波発生装置を取り入れているために痛みが少なく、その結果無麻酔で鎮痛剤の投与だけで治療が可能となりました。また特殊な電気伝動式衝撃波技術を採用しているため破砕効果も向上し、通常の結石なら約30分で治療できるようになりました。

尿路結石は一度治療しても再発する人が多く、従来の手術治療を何回も繰り返すということは非常に困難なことです。



▲手術によって取り出された腎臓結石 ▲衝撃波治療により砂状になった腎臓結石



▲当院に導入された最新のESWL(体外衝撃波碎石)装置

しかし、ESWLは切開手術ではなくまた内視鏡手術と比べても体への負担は非常に少なく、いわば再発に対しても繰り返し治療することが可能となります。

現在医学が発達したとはいえ、尿路結石症の予防は難しく、発症する患者さんはむしろ増加しているのが現状です。

それだけに今まで尿路結石症に苦しんでこられた患者さんにとっては、今回のESWLの導入により、大いに恩恵がもたらされるものと確信しています。



▲松尾先生



尿路結石と薬

尿路結石の排出促進を目的とした薬にウロカルンという薬があります。この薬の成分はウラジロガシエキスで、古くから、はいせき茶・溶石茶として用いられてきた「うらじろがし」から抽出し製剤化したものです。うらじろがしは、九州・四国に分布するブナ科の植物で、漢字では「裏白樫」と書き、葉の裏が白っぽいことに由来します。(※写真参照)ウロカルンは、結石の形成抑制作用・溶解作用・抗炎症作用・利尿作用をもつため、結石がある方に処方されています。

▼裏白樫



結石の検査



尿路に結石がある場合、尿検査をすると正常のこともあります。血尿・細菌感染・結晶成分が見られることもあります。体の外に出てきた結石は、特殊な装置で成分を分析します。その結果結石のできた原因を特定し、治療や再発の防止に役立っています。

お産後の疲れた体は…………… アロマでリフレッシュ

アロマテラピーは、即効的にリラックスやリフレッシュなど、感情・気分に変化を与える効果があります。

周産期におけるメディカルアロマテラピーが注目されている中、当産婦人科病棟では、平成10年に行った看護研究を裏付けに、十数時間かかったお産で疲労した体を、早く元に取り戻していただくために、エッセンシャルオイルを用いたアロマテラピーを行っています。

エッセンシャルオイルの香りは、脳の交感神経に作用し優れた鎮静効果があるので、お産後、清拭や足浴また不眠を癒す方法として取り入れています。心身の緊張をほぐしバランスを整え、健康な状態を取り戻すことをサポートしています。

アロマアドバイザーである産婦人科医師の安田先生もおすすめていますよ。アロマで心も体もリラックス!



「アロマの香りとマッサージで、とてもリラックスできました。とても気持ち良かったです」…と黒木さん。



みんなに「ありがとう」

医療相談 清水 由美子さん

「あと正味1ヶ月で退職するんだなー。」とつくづく月日の流れの早さを感じ、これまで一日一日を大切にしてきたのかと反省させられます。

また定年まで仕事を続けることができたのは、職場の皆様、多くの友人、家族の支えがあったからと思います。みんなに「ありがとう」の気持ちでいっぱいです。

思えばこんなに長く働き続けるとは、考えていませんでした。看護師から相談室へ勤務が変わった時は、ソーシャルワークの難しさに愕然とし、知識のなさに情けない思いをしました。分からないところは習えばよいと看護学校以来の勉強をする事になり、社会福祉士として一人の人として相談者に向き合うこと等、多くのことを学びました。今まで学んだことを退職後の自分の生活に生かしていきたいと思えます。

これからは時間が無く出来ないでいた山菜取り、魚釣りついでに温泉などへ出かけ、毎日「ワクワク」して過ごしたいと思っています。

市立秋田総合病院

理念

- 市立秋田総合病院は、全ての人々の幸福のため、良質で安全な医療を提供し続けることを目指します。

基本方針

- 患者さんに信頼される暖かい、心の通い合う医療を行います。
- 多様化する医療への要望に応えるために、常に医療水準の向上に努め、地域の中核病院としての役割を果たします。
- 患者さんの権利や意思を尊重し、十分な診療情報の提供と相互理解に基づく医療を行います。
- 医療の安全の更なる向上に努めます。
- 良質な医療を提供していくために、健全な病院経営を目指し、業務の改善と効率的な運営に努めます。



市立秋田総合病院広報紙
あきと

平成17年2月24日発行(年4回発行)No.010